

令和3年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和3年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	盛岡市中央市場冷蔵株式会社		所管課	中央卸売市場業務課
所在地	〒 020 - 0841 盛岡市羽場10地割100番地			
電話番号	(019) 638 - 7605		設立年月日	昭和43年7月13日
代表者	代表取締役社長 菊池 一裕 ☒ 常勤 ☐ 非常勤		☐ 市OB ☐ 市現職 ☒ その他	
設立目的	盛岡市中央卸売市場水産物部における卸売業者、仲卸業者及び売買参加者の出資により、開設区域内での水産物の安定供給を図るため、冷凍・塩蔵魚介類等の冷蔵保管及び製氷販売を目的として設立された。			
主要事業	① 冷凍及び冷蔵保管事業 ② 製氷及びその販売事業 ③ 前各号に附帯する一切の事業			

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
☐ ある (アドレス http://)
☐ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) ☒ 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
☐ 事業内容 ☐ 財務状況 ☐ 役員氏名 ☐ その他()
ホームページ以外での情報提供の方法

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	取締役	2			3	5	
	監査役				1	1	
	計	2	0	0	4	6	
職員	管理職	正職員			0	0	
		臨時職員	—	—			
	一般職	正職員	9		1	10	
		臨時職員		—			
	計	正職員	9	0	0	1	10
		臨時職員	0	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 0	常勤職員の平均年齢		52 歳	
常勤職員の給与体系							
☒ 法人独自の給与体系 ☐ 市の給与体系を準用 ☐ その他()							

4

資本金 (基本財産)	60,000 千円	本市出資等額	30,000 千円	本市出資等割合	50.0 %
主な出資等者					
① 盛岡市			(出資等割合	50 %)	
② 盛岡水産株式会社			(出資等割合	48.3 %)	
③ 盛岡水産物商業協同組合			(出資等割合	1.7 %)	
④			(出資等割合	%)	
⑤			(出資等割合	%)	
令和3年度における当 市の財的関与の状況	補助金	0 千円		(収入全体の	%)
	負担金・交付金	0 千円		(収入全体の	%)
	委託料	0 千円		(収入全体の	%)
	指定管理料	0 千円		(収入全体の	%)
	貸付金	0 千円		(収入全体の	%)
補助金内訳					
①		(令和3年度予算額		千円)	
②		(令和3年度予算額		千円)	
③		(令和3年度予算額		千円)	
負担金・交付金内訳					
①		(令和3年度予算額		千円)	
②		(令和3年度予算額		千円)	
委託料内訳					
①		(令和3年度予算額		千円)	
②		(令和3年度予算額		千円)	
指定管理料内訳					
①		(令和3年度予算額		千円)	
②		(令和3年度予算額		千円)	
③		(令和3年度予算額		千円)	
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		利用料金収入(令和3年度予算額)		千円	
		法人の収入全体の		%	

5

施 設 の 名 称	
-----------	--

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成30年度	令和元年度	令和2年度
①冷蔵庫収入	千円	計画	93,261	92,030	79,303
		実績	80,013	82,647	79,894
②凍氷収入	千円	計画	6,999	7,969	5,998
		実績	9,708	10,896	6,980
③経常損益	千円	計画	5,619	534	▲ 8,212
		実績	▲ 5,541	▲ 2,703	▲ 7,328
		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
収支の状況	売上高(A)	89,722	93,543	86,874
	売上総利益	88,679	92,506	86,268
	販売費・一般管理費(B)	98,681	94,909	93,727
	営業利益	▲ 10,001	▲ 2,403	▲ 7,458
	経常利益(C)	▲ 5,541	▲ 2,703	▲ 7,328
	税引前当期純利益	▲ 5,541	▲ 2,662	▲ 7,328
	当期純利益	▲ 5,726	▲ 2,847	▲ 7,513
財産の状況	資産(D)	82,961	67,436	88,839
	うち流動資産(E)	18,615	14,694	46,649
	うち固定資産	64,346	52,742	42,190
	負債	31,790	19,112	48,029
	うち流動負債(F)	20,058	17,573	16,356
	うち短期借入金(G)	11,520	9,475	0
	うち有利子負債(H)	11,520	9,475	0
	うち固定負債	11,732	1,539	31,673
	うち長期借入金(I)	9,475	0	30,000
	うち有利子負債(J)	9,475	0	0
	純資産	51,172	48,325	40,812
	うち資本金(K)	60,000	60,000	60,000
	うち剰余金(L)	▲ 8,828	▲ 11,675	▲ 19,188

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
組織の状況	常勤役員数(M)	2	2	2
	うち本市OB			
	うち本市派遣職員			
	職員総数(N)	11	11	9
	うち常勤職員数	10	10	8
	うち本市OB			
	うち本市派遣職員			
	うち管理職員数			
	常勤役員比率(M/総役員数)	28.5	28.5	33.3
	管理職員比率	0.0	0.0	0.0
経営指標	職員新規採用数			
	うち常勤職員数			
	売上高経常利益率(C/A)	▲ 6.1	▲ 2.8	▲ 8.4
	販売費・一般管理費比率(B/A)	109.9	101.4	107.8
	流動比率(E/F)	92.8	83.6	285.2
	借入金依存度((G+I)/D)	25.3	14.0	33.7
	自己資本比率((K+L)/D)	61.6	71.6	45.9
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	41.0	19.6	0.0
本市の財政的関与等の状況	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	6,901	7,195	7,897
	補助金額	5,003	-	-
	① 施設建設費償還補助金	5,003	-	-
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料			
	①			
	②			
	③			
	貸付金額			
	損失補償額			
	債務保証額			
令和2年度決算の概要		収入については、コロナ禍のあおりを受けて冷蔵庫収入、凍氷収入とも減少し、特に凍氷収入は前年比64.1%にも下がり、赤字幅が広がることとなった。経費については、電力量、人件費で前年比2,789千円の減となったが、冷凍機のオーバーホールや碎氷機の故障により機械保守料がかさんだ結果、全体で前年比98.6%となった。		

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

B	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント) 令和2年当初から新型コロナウイルス感染症対策のあおりを受け、水産物の取扱量の減少が留まることのない状態となり、冷蔵倉庫事業、凍氷販売事業に大いに影響を及ぼしており、コロナ対応特別資金融資を受けることとなった。水産・飲食・イベント等各業界の事業回復、社会経済の復調により収支均衡が図られていくものの、借入金返済、フロンガス規制、機器の保守・修繕等、経費の増加に対応するような収益の確保は容易ではない状況にある。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和元年度決算において黒字である。		○
2	令和2年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。	○	
4	令和2年度決算において減価償却前黒字である。	○	
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	○	
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。	○	
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		